



Danon Legend

ダノンレジェンド

体高161cm

2010年生 黒鹿毛 米國産

Fee

受胎条件

100万円
産駒誕生後30日迄支払

出生条件

150万円
産駒誕生後1ヶ月以内支払



マッチョノ
Macho Uno
芦毛 1998

*マイグッドネス
My Goodness
黒鹿毛 2005

ホーリーブル
Holy Bull
芦毛 1991

プライマルフォース
Primal Force
鹿毛 1987

ストームキャット
Storm Cat
黒鹿毛 1983

カレシング
Caressing
黒鹿毛 1998

グレートアバヴ
Great Above

シャロンブラウン
Sharon Brown

ブラッシンググルーム
Blushing Groom

プライムプロスペクト
Prime Prospect

ストームバード
Storm Bird

ターリングァ
Terlingua

オナーアンドグローリー
Honour and Glory

ラヴィンタッチ
Lovin Touch

Minnesota Mac
Ta Wee

Al Hattab
Agathe's Dawn

Red God
Runaway Bride

Mr. Prospector
Square Generation

Northern Dancer
South Ocean

Secretariat
Crimson Saint

Relaunch
Fair to All

Majestic Prince
Forest Princess

Rough'n Tumble
Cow Girl
Intentionally
Aspidistra

The Axe
Abyssinia
Grey Dawn
Agathe

Nasrullah
Spring Run
Wild Risk
Aimee

Raise a Native
Gold Digger
Olden Times
Chavalon

Nearctic
Natalma
New Providence
Shining Sun

Bold Ruler
Somethingroyal
Crimson Satan
Bolerio Rose

In Reality
Foggy Note
Al Nasr
Gonfalon

Raise a Native
Gay Hostess
Fleet Nasrullah
Queen Hostess (9-f)

5代までのインブリード : Raise a Native S5×M5

貴重なヒムヤー系の血を継承する異色のスプリンター 半弟にG1安田記念を制したダノンキングリー 2023年は、2歳重賞だけで6頭が8勝する大活躍

Race Record 競走成績

4歳暮れから2年余りの短期間に重賞9勝!

2~6歳時に30戦14勝、2着4回、3着3回
総収得賞金: 3億6749万1000円

1	Jpn1	JBCスプリント	(2016)	川崎・ダ1400m
1	Jpn2	東京盃	(2015)	大井・ダ1200m
1	G3	カペラス	(2014)	中山・ダ1200m
1	Jpn3	クラスターC	(2015, 2016)	盛岡・ダ1200m
1	Jpn3	東京スプリント	(2015)	大井・ダ1200m
1	Jpn3	北海道スプリント	(2016)	門別・ダ1200m
1	Jpn3	黒船賞	(2015, 2016)	高知・ダ1400m
2	Jpn1	JBCスプリント	(2015)	大井・ダ1200m
3	Jpn3	東京スプリント	(2016)	大井・ダ1200m
3	Jpn3	北海道スプリントC	(2015)	門別・ダ1200m

Sire Record 種牡馬成績

JRAOPクラス、地方重賞で活躍馬多数

2017年よりイーストスタッドで供用。

[代表産駒]

スペシャルエックス ベストリーガード	兵庫ジュニアGP-Jpn22着、兵庫ゴールドT-Jpn33着 ラジオ日本賞-OP2着、平城京S-OP2着、 吾妻小富士S-OP2着
モックモック	伏竜Sc-OP2着
ミッキーヌチバナ ジュディッタ	御陵S、ペテルギウスS-OP3着 西脇S
サンマルレジェンド サヨノネイチャ	マレーシアC 南関東・勝島王冠
トラジロウ	北海道・ネクストスター門別、イノセントC
ダヴァンティ	石川・ネクストスター金沢、石川TV杯
イカニカン	佐賀・九州ダービー栄城賞
ブラックマンバ ストリーム	高知・金の鞍賞 北海道・栄冠賞
マッドシェリー	岩手・OROターフスプリント
マックスレジェンド	岩手・知床賞
アメリアハート	北海道・フローラルC、南関東・ローレル賞2着
トゥールリー	佐賀・九州ジュニアチャンピオン、ネクストスター佐賀3着
オスカーブレイン	北海道・サッポロクラシックC、ネクストスター門別3着

Sire Reference 父系

ホーリーブル産駒の父は米2歳牡馬チャンピオン

父: マッチョウノ Macho Unoは米国産。米国で2~4歳時14戦6勝、米2歳牡馬チャンピオン、B Cジュヴェナイル-G1、グレイB C S-G1、マサチューセッツH-G2、ペンシルヴェニアダービー-G3。[代表産駒] ムーチョマッチョマン Mucho Macho Man (BCクラシック-G1、オーサムアゲイン S-G1)、プライヴェートゾーン Private Zone (シガーマイルH-G1、フォアゴース-G1、ヴォスバーク S-G1)、マッショアゲイン Macho Again (ステイヴンフォスターH-G1)、ウィツキドスタイル Wicked Style (フリーダースフューチュリティ-G1)、ウービーメーカー Whoopee Maker (ベントゴンサルヴェス大賞-G1)、マッショマッショ Macho Macho (ウエストヴァージニアダービー-G2)、オーヴァーハード Overheard (ダンススマートリー S-G2)、ムーチョマスマッショ Mucho Mas Macho (フォートローダーデール S-G2)、ボビーアブダビ Bobby Abu Dhabi (コナゴールド S-G2)、*ベストマッショ (テレ玉杯オーバルスプリント-Jpn32着)

Family 母系

半弟ダノンキングリーが安田記念を制す!

母*マイグッドネス My Goodness (by Storm Cat) は北米1勝。産駒
*ダノンレジェンド (社 by Macho Uno) 中央・南関東・岩手・北海道・高知◎14勝、JBCスプリント-Jpn1、同2着、東京盃-Jpn2、同5着、カペラス-G3、東京スプリント-Jpn3、同3着、クラスターC-Jpn32回、北海道スプリントC-Jpn3、同3着、黒船賞-Jpn32回、テレビ静岡賞、なになわS。〈本馬〉
ダノンキングリー (社 by ディープインパクト) 6勝、安田記念-G1、毎日王冠-G2、同2着、中山記念-G2、共同通信杯-G3、ダービー-G12着、皐月賞-G13着、大阪杯-G13着。種牡馬
ダノングッド (社 by Elusive Quality) 6勝、京葉S-L、南関東・東海・兵庫・高知・佐賀(公)10勝、黒船賞-Jpn33着
ミッキーグッドネス (牝 by ディープインパクト) 3勝、忘れな草賞-L4着
ミッキーマインド (社 by ディープインパクト) 2勝
祖母カレシグ Caressing は米2歳牡馬チャンピオン、北米5勝、BCジュヴェナイルフィリーズ-G1、ラトローヌ S-G3、シンガポールプレート S-G3、Bassinnet S、アーリントンワシントンラッシー S-G32着。産駒
ウエストコースト West Coast: 米3歳牡馬チャンピオン、北米6勝、トラヴァーズ S-G1、ペンシルヴェニアダービー-G1、ロスアラミスダービー-G3、ドバイワールドC-G12着、ペガサスワールドC-G12着、オーサムアゲイン S-G12着、レキシントン S-G32着、B Cクラシック-G13着。種牡馬
ゴールドホーク Gold Hawk: 北米12勝、ルコント S-G33着
ファンアンドビーナ Juan and Bina: 北米2勝、Smooth Air S2着、キャリアバック S-G33着、ホーリーブル S-G24着
曾祖母ラヴィンタッチ Lovin Touch は北米4勝、シリオン S-CAN3、Mademoiselle S、ブラックアイトスーザン S-G22着。産駒
プラティナムブロード Platinum Blonde: 北米2勝、ナタルマ S-CAN1、ミエスク S-G33着、Staten Island S3着
四代母フォレストプリンセス Forest Princess は北米1勝。産駒
ハタブギャル Hattab Gal: 北米1勝。シーカデット Sea Cadet (ドンH-G1)、
オンターゲット On Target (デルマーフューチュリティ-G2)の母
ロハゴゴ Lohagogo: 米2勝。ウィロウムード Willowy Mood (バーバラフリッターH-G3)の母

Best Progeny



©K.Koganei

勝島王冠 2023.12.7 大井・ダ1800m

デビューから12戦10勝パーフェクト連対 勝島王冠で待望の重賞勝利!

サヨノネイチャ

父*ダノンレジェンド
母オムスピ(オレハマッテルゼ)
牡 2019年生 大井・坂井英光厩舎

サヨノネイチャは浦河の木村牧場生産。3代母のウラカワミュキからナイスネイチャが出ている。2020年北海道市場セプテンバーセールで550万円(税込)で取引された本馬は、大井の坂井英光厩舎に入厩しダート1400mのデビュー戦で2着に1秒差をつける圧勝劇を見せる。その後は距離をマイル~中距離に伸ばし、重賞初挑戦となった勝島王冠に歩を進める。後方からレースを進めると、3コーナーから進出を始め、前を行くライトウォーリアをハナ差捕えたところがゴール。2024年の更なる飛躍を感じさせる嬉しい初重賞勝ちとなった。